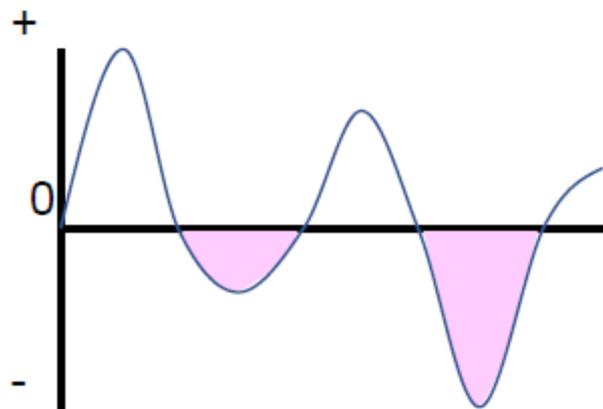


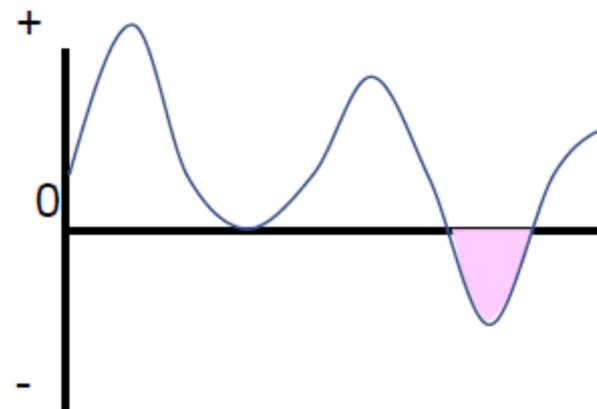
## 【図表1】「過剰」設備によって不安定さは解決できる

太陽光+風力に期待される総発電量と  
実際の発電量とのかい離（イメージ）



太陽光・風力の発電量が低下した際に補う  
バックアップ電源による発電が相当量（▼）  
必要とされ、不足が発生する頻度も多い。

太陽光+風力の総発電量を余らせる  
前提で設備を大量・分散導入した場合



大量導入により、発電量が低下しても、需要を下回る  
不足量・頻度ともに圧倒的に少なくなる。  
太陽光と風力との補完効果に加え、数の増加による  
分散効果によって「不安定」さも改善している。  
余剰電力がほぼ常に発生することになるので、  
水素に変換して有効利用する。

出所：丸紅経済研究所作成